

インドでの都市開発支援に向けて

第5回都市開発に関する日印交流会議でインド・日本政府が横浜を視察

9/15（木）北部下水道センター（環境創造局）、みなとみらい21（都市整備局）

日本とインド両国による「第5回都市開発に関する日印交流会議」が開催され、9月15（木）にインド共和国都市開発省のS.クリシュナ次官をはじめとする8名のインド政府関係者、国土交通省総合政策局の皆様が横浜のインフラを視察されました。具体的には、新興国でのまちづくりに求められる水インフラを代表する環境創造局北部下水道センターと環境に配慮した高度な都市機能を有するみなとみらい21地区をご覧になり、ハイテク技術とノウハウに興味を示されました。

●来賓者

（インド共和国）

都市開発省	S. クリシュナ次官
都市開発省	S. シン局長（都市開発担当）
都市開発省	S. チャタジー次長（都市交通担当）
都市開発省	A. ジョシ課長（都市開発担当）
インド建設公社	V. P. ダス理事長
デリーメトロ公社	M. シン部長（施工担当）
デリー上下水道公社	R. K. ガーク氏
ラジャスタン州政府	G. S. サンデュー都市開発次官

計 8 名



●視察の状況

①環境創造局北部下水道センター（14:20～15:20）鶴見区鶴見区末広町1-6-1

・横浜市下水道事業及び北部下水道センターの概要説明、施設見学



インドの都市開発に必要な不可欠な下水道施設事例として、鶴見区の環境創造局北部下水道センターを視察され、横浜の高度な水処理・汚泥処理技術とノウハウ、また循環型社会に貢献する資源・エネルギーの有効利用に興味を示されました。

②みなとみらい21地区（15:50～17:05）日揮株式会社横浜本社：西区みなとみらい2-3-1

- ・ 横浜市の都市計画、みなとみらい21の概要説明、視察



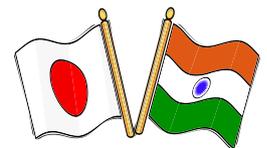
海外の都市からも高い評価を受けている、みなとみらい21地区のスマートでコンパクト、かつ、環境にも配慮したまちづくりをご覧になったほか、パシフィコ横浜やランドマークタワーなど、洗練された街並みをバスの車窓から視察され、都市空間やデザインについてもご興味を示されました。

(参考)

○都市開発に関する日印交流会議について

(会議の経緯)

- ・ 2006年12月シン首相来日、当時の安倍首相と「日印戦略的グローバル・パートナーシップ」に向けた共同声明に署名（共同体設置を内容に含む）
- ・ 2007年5月冬柴国土交通大臣が訪印、レディ大臣との間で「都市開発分野に関する協力に係る日本国国土交通省とインド国都市開発省との間の了解覚書」を交換（都市開発に関する日印交流会議を創設）
- ・ これに基づき平成19年6月より、二国間政府会議として「都市開発に関する日印交流会議」が毎年1回両国で交互に開催されている。



(会議の枠組み)

- ・ 日本国国土交通省技監、及びインド国都市開発省次官を共同議長とし、
水環境（都市浸水対策、下水、汚水対策）
都市開発（都市再開発、都市防災（水環境分科会で扱うものを除く）
都市交通の分科会（総合都市交通計画、公共都市交通機関の整備、ITS）を設置。



東京で開催された「第5回都市開発に関する日印交流会議」
(インド共和国都市開発省クリシュナ次官、国土交通省佐藤技監)
http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000150.html